

新規事業採択時評価結果（令和3年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
 担当課長名：荒瀬 美和

事業の概要

事業名	高規格ICアクセス 主要地方道倉吉由良線	事業区分	地方道	事業主体	鳥取県
起終点	自：鳥取県東伯郡北栄町由良宿 至：鳥取県東伯郡北栄町西園	延長	0.7 km		
事業概要 「主要地方道倉吉由良線」は、倉吉市内の国道313号を起点とし北栄町内の国道9号に接続する延長10.7kmの幹線道路である。 当該区間の整備により、平成29年度に事業化された高規格幹線道路 北条道路の大栄IC（仮称）へと接続することで、高速交通網へのアクセスが向上し、当該地域の物流及び人流の活性化に寄与するものである。					
事業の目的、必要性 ・災害時拠点の北栄町役場と北条道路を接続することによる防災機能の強化 ・北条道路からの青山剛昌ふるさと館等の主要観光施設への周遊性向上 ・行政、経済・商業、文化、住民等により構成される『県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会』の交通アクセス部会により、アクセスルートに位置づけられている。					
全体事業費	2.5億円	計画交通量	1,300台/日		
事業概要図 					

事業評価結果

費用便益分析	B/C	1.5	総費用 2.5億円 (事業費:2.0億円 維持管理費:0.44億円)	総便益 3.7億円 (走行時間短縮便益:2.9億円 走行経費減少便益:0.44億円 交通事故減少便益:0.41億円)	基準年 令和2年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.6 (交通量 +10%)	B/C=1.4 (交通量 -10%)		
		事業費変動	B/C=1.4 (事業費 +10%)	B/C=1.6 (事業費 -10%)		
事業期間変動		B/C=1.4 (事業期間 +20%)	B/C=1.6 (事業期間 -20%)			
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	○	・高速交通網へのアクセスが確保され、交通混雑の緩和が期待される。 【北栄町役場～国道9号（東向き）所要時間】 現況：9分 → 整備後：5分（約4分短縮）		
		事故対策	○	・周辺道路の交通量を分散させることで、交通混雑等に起因する事故発生の減が期待される。		
		歩行空間	○	・周辺道路の交通量を分散させることで、安全な走行環境を形成する。		
	社会全体への影響	住民生活	○	・北条道路と接続することによる第3次緊急医療施設へのアクセス向上		
		地域経済	○	・アクセス向上による輸送能力向上で特産の大栄西瓜等の農産物の県外への出荷量の増加		
		災害	◎	・災害時拠点の北栄町役場と北条道路と接続することによる防災機能強化		
環境		○	・所要時間短縮に伴うCO2排出量の減少。			
地域社会	○	・北条道路からの青山剛昌ふるさと館等の主要観光施設への周遊性向上による観光振興				
事業実施環境	◎	・地元自治体から、早期整備の要望を受けており、円滑な事業執行が可能な環境が整っている。				

関係する地方公共団体等の意見

山陰道「北条道路」の開通時期が公表されたことから、大栄ICへのアクセスとなる当事業においても、山陰道「北条道路」と一体的な開通を目指した早期整備の期待が高まっている。

学識経験者等の第三者委員会の意見

—

事業採択の前提条件

費用対便益：便益が費用を上回っている。

採択の理由

費用便益分析による評価結果によると、費用便益比が1.5と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。

また、災害時拠点と北条道路と接続することによる防災機能強化、主要観光施設への周遊性向上による観光振興、物流の安定化・効率化、医療機関へのアクセス向上等、当該事業の必要性・効果は高いと判断できる。

以上により、本事業は令和3年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。